

平成 31 年 2 月 28 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 2 6 6 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 有機 JAS・GAP 認証取得、GAP 認証審査員育成支援の公募のお知らせ
2. 逆引き事典に 31 年度予算案を掲載！
3. 水稻農業者の皆様へ ～水稻共済の加入申込をお忘れなく～
4. 3 月から春の農作業安全確認運動がはじまります！
5. 農業 I C T の先行導入事例のご紹介
6. アグリサーチャーニュース vol.7 を発行しました
7. 「生分解性マルチの活用事例集」を作成しました！！
8. 「土づくりコンソーシアム」設立総会・記念講演会を開催します！
9. 3 月 25 日（月）マッチングミーティング（経営・生産管理システム）を開催！
10. 新しい地域が農業遺産に認定されました！

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 有機 JAS・GAP 認証取得、GAP 認証審査員育成支援の公募のお知らせ】

農産物の輸出拡大に向け、輸出を目指す農業者等に対する有機 JAS 認証、GAP 認証（GLOBALG. A. P.、ASIAGAP）の取得や商談等の取組の支援、GAP 認証審査員候補者に対する研修受講等の取組の支援を目的とした「国際認証取得等支援事業」の公募を、（一社）全国農業改良普及支援協会が行っています。

◇公募期間：平成 31 年 2 月 22 日（金）～平成 31 年 3 月 15 日（金）

◇詳しくはこちら

（一社）全国農業改良普及支援協会ホームページ

<https://www.jadea.org/news/index.html>

◇お問い合わせ先

（一社）全国農業改良普及支援協会

TEL：03-5561-9562

農林水産省生産局農業環境対策課

有機農業推進班 TEL：03-6744-2144

GAP 推進グループ TEL：03-6744-7188

【2. 逆引き事典に 31 年度予算案を掲載！】

農林水産省で公開している逆引き事典。補助金等を「誰が」「何をしたい」から検索できます。

今回、平成31年度予算案を掲載しました。

正式な名前が分からなくても、例えば「農業を営む私」が「輸出したい」時に利用できるものの一覧を見ることができ、事業同士を比較して検討することもできます。

今まで知らなかった補助金と出会えるチャンスです。パソコンやタブレットから検索してみませんか？

優良事例なども続々追加されますので、チェックをお忘れなく！

◇逆引き事典はこちら

<https://www.gyakubiki.maff.go.jp/>

◇お問い合わせ先

農林水産省大臣官房広報評価課広報室（担当：大谷、山田）

TEL：03-3502-5594

【3. 水稲農業者の皆様へ ～水稲共済の加入申込をお忘れなく～】

30年産の水稲は、豪雨、台風などの災害や異常高温等の天候不順により、収穫量が減少するなどの被害が多発しました。

自然災害や価格低下に限らず農業経営上のリスクに対しては、農業者自ら備えることが重要であり、農業保険への加入（収入保険、水稲共済）が基本となります。災害リスクはいつ起こるか、誰に起こるか分かりません。昨年、被災された方からは、こんな災害は生まれて初めて、という声が聞かれます。是非、農業保険に加入して万一のこれら災害に備えましょう！！

本年から、水稲共済への加入には、申込が必要となりました。加入申込書が配布されますので、期限までに忘れずに申し込むようお願いします。

詳しく知りたい方はお近くの農業共済組合等へお問い合わせください。

◇農業共済組合等の相談窓口はこちら

<http://nosai-zenkokuren.or.jp/consultation.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省経営局保険監理官農作物・畑作班（担当：藤原、中川）

TEL：03-6744-2180

【4. 3月から春の農作業安全確認運動がはじまります！】

毎年300件以上発生している農作業中の死亡事故を減少させるため、農林水産省は、春作業が行われる3月から5月までを重点期間として、春の農作業安全確認運動を実施します。

今年のテーマは「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」です。以下の啓発資料等を参考に、取り組みやすい安全対策からはじめてみてください！

◇農林水産省「農作業安全の啓発資料」

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryu.html

◇農林水産省「平成31年農作業安全ステッカーデザイン」

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/index-79.pdf

※上記の啓発資料、デザインは自由にご利用いただけます！

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室（担当：細田、広瀬）

TEL：03-6744-2111

【5. 農業ICTの先行導入事例のご紹介】

農林水産省の補助事業の一環として、今年1～2月にかけて「儲かる農業を実現する」農業ICTセミナーを全国5ヶ所で開催し、農業者の皆さまにも多数ご参加いただきました。

当日配布資料を、事業実施主体JMACのホームページに公開いたしました。

それぞれの経営体に合った営農管理システムをご選択いただくために、ぜひご活用ください。

◇資料はこちら

https://www.jmac.co.jp/news/seminar_events/info20190222.html

※公開資料

「儲かる農業を実現する」農業ICT先行事例

営農管理システムを導入し、農作物の高付加価値化や農作業の管理の効率化、収量の増加等を行った9事例を掲載。システムの導入背景、成果、コスト等を事例ごとに紹介しています。

参考：農業ICT製品機能一覧表

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局技術普及課スマート農業推進班（担当：江澤）

TEL：03-3501-3769

【6. アグリサーチャーニュースvol.7を発行しました】

アグリサーチャーに掲載の研究成果や研究者をご紹介します「アグリサーチャーニュース」。

今回は「レタスの安定的な契約取引を支援する作付計画策定・出荷予測アプリケーション」をご紹介します。1月17日に始まりました対話型検索システムの使い方も掲載しています。ぜひご覧下さい。

◇アグリサーチャーニュースvol.7はこちら

<http://www.affrc.maff.go.jp/agresearcher/news/index.htm>

◇アグリサーチャーはこちら

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/>

◇お問い合わせ先：

農林水産技術会議事務局研究企画課情報調査班（担当：佐藤、中村）

TEL：03-3501-9886

【7. 「生分解性マルチの活用事例集」を作成しました！！】

近年、プラスチックによる海洋汚染が国際的な問題となっており、対策の強化が求められる中で生分解性マルチが注目されています。

生分解性マルチは、土壌中の微生物の働きにより最終的には水と二酸化炭素に分解されることから、使用済みプラスチックの排出抑制に貢献する資材です。

また、通常のポリマルチに比べると、価格は高いものの、マルチの回収作業や処理費用が不要となるなど、生産者にとって労働力不足の解決にもメリットを有しています。

マルチを利用する生産者の皆様には、この事例集も参考にいただき、生分解性マルチの活用についてご検討ください。

◇生分解性マルチ活用事例集はこちら

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/pura-jun/pdf/pura-jirei.pdf>

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局農業環境対策課資源循環推進班

TEL：03-3502-5956

【8. 「土づくりコンソーシアム」設立総会・記念講演会を開催します！】

農林水産省は、科学的データに基づく土づくりの導入とその効果的な普及のため、「土づくりコンソーシアム」を設立しました。土づくりに携わる関係者の力を結集し、生産現場における土づくりを支えてまいります！

3月7日（木）に、東京都内で設立総会と記念講演会を開催します。「土づくり」に関心のある皆様、奮ってご参加ください！

▼「土づくりコンソーシアム」設立総会

日時：3月7日（木） 14:00～17:45（受付13:30～）

場所：TKPガーデンシティ竹橋 大ホール（東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル2階）

▼詳細および参加申込はこちら（申込締切：3月4日（月））

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kankyo/190222.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局農産部農業環境対策課（担当：浅野、甲斐）

TEL：03-3593-6495

【9. 3月25日（月）マッチングミーティング（経営・生産管理システム）を開催！】

農林水産省では、現場ニーズに対応する、ICTなどを活用した新技術について、農業者の皆様と企業等が直接対話できる「マッチングミーティング」を開催しています。

今回のテーマは「経営・生産管理システム」です！

19社のシステムをプレゼンテーションや個別ブースでの相談を通して、一度に比較検討できる貴重な機会です。ぜひ会場に足をお運びください！

◇詳細はこちら

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/190227.html>

◇参加登録はこちら（3月24日（日）まで）

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kihyo01/matching_meeting_mgt.html

◇お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課

担当者：太田、田島、表谷（ひょうたに）

TEL：03-6744-0494

E-mail:Innovation_group@maff.go.jp

【10. 新しい地域が農業遺産に認定されました！】

新たに7地域が日本農業遺産に認定されました！

認定された地域は、「山形県最上川流域」、「福井県三方五湖地域」、「滋賀県琵琶湖地域」、「兵庫県兵庫美方地域」、「和歌山県海南市下津地域」、「島根県奥出雲地域」、「愛媛県南予地域」の7地域です。

日本農業遺産に認定された地域については、4月19日（金曜日）に農林水産省講堂で認定式を行う予定です。

同時に世界農業遺産への認定申請についても「山梨県峡東地域」、「滋賀県琵琶湖地域」、「兵庫県兵庫美方地域」の3地域が承認されました。今後国連食糧農業機関（FAO）への申請を行い、FAOにおいて審査を受けます。

◇農業遺産とは…？

伝統的な農林水産業が社会や環境に適応しながら何世代にもわたり受け継がれる中で、特徴的な景観や文化、多様な生きものが生まれ、守り伝えられてきた地域を認定するものです。

FAOが認定をおこなう世界農業遺産と、農林水産大臣が認定をおこなう日本農業遺産があります。

◇詳細な情報はこちら！

<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/190215.html>

◇問い合わせ先

農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課農業遺産班

TEL：03-6744-0250

◆◆◆編集後記◆◆◆

1年のうち、2月だけが28日と短いのはなぜでしょう。由来は古代ローマの暦。農作業が始まる春（3月）が1年の始まりで、最後の月である2月に、季節がずれないように帳尻合わせをしたそうです。明日から新たな気持ちで頑張れそうです！（兼田）

- 経営局公式Facebookページ「農水省・農業経営者net」

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

- ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

- リンクURLの一部にPDF形式のものがあります

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3PDFファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンでAdobeReaderをダウンロードしてください。

→ <http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日：毎月1回発行
- 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：吉田、金彦（かねた）、兼田

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

